令和７年度 野洲図書館 事業報告（概要）

令和８年（2026 年）4月1日 （統計は令和７年度数値）

1.利用状況

（1）個人貸出し

	貸出冊数（冊）	貸出人数（人）	予約受付（冊）	問合件数（件）	実利用数（人）	人口一人あたりの貸出冊数
本　館	430,162	113,403	68,441	3,992	－	－
中主分館	38,766	8,336	1,732	539	－	－
合計	468,928 前年比　+1.0% （32,191）	121,739 前年比 +4.4% （8,417）	70,173 前年比　+4.8	4,531 前年比 +22.6%	9,413 （市民 8,314 人 実利用率 16.5%）	9.3 冊

＊（　　）内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

＊「実利用者数」は１年間に１度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

＊開館 280 日

（2）地域別貸出冊数（市民･広域･在勤･在学）

		本館	中主	合計	前年比
野洲市民		389,994	35,931	425,925	1.9%
湖南4市	守山	23,838	1,643	25,481	-10.7%
	栗東	3,480	130	3,610	-4.8%
	草津	2,714	386	3,100	37.4%
	小計	30,032	2,159	32,191	-6.9%
その他		10,136	676	10,812	-6.4%
合計		430,162	38,766	468,928	-6.9%
前年比		1.7%	△5.8%	1.0%	

（3）貸出冊数の推移

	合計	うち市民
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189
R3	535,337	473,927
R4	506,796	451,355
R5	498,520	445,917
R6	464,242	418,119
R7	**468,928**	**425,925**

（4）近年の利用状況の推移

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	**R7**
貸出点数	555,122	485,218	535,337	506,796	498,520	464,242	**468,928**
貸出人数（のべ）	128,915	115,694	125,242	122,507	122,945	116,633	**121,739**
利用１回あたり貸出冊数	4.30	4.19	4.27	4.14	4.05	3.98	**3.61**
図書購入冊数	9,900	10,474	10,246	8,388	8,306	6,400	**6,361**

R2 年度→R4 年度がコロナ対策期（R2.4:緊急事態宣言、R5.5 に５類移行）。R2,R3 はコロナ交付金により別途園･学校用の資料購入あり。
図書購入予算の減少傾向（H30:1600 万円→R6:1150 万円）と、書籍価格の上昇により購入冊数が減少傾向（→資料の新鮮味が落ちる）

野洲図書館の近年の状況を見ると、貸出冊数の減少とともに、“利用１回あたりの貸出冊数”に減少傾向がみられる。これは、生活様式の変化による「本離れ」現象が影響しているということだけでなく、図書館に来館した利用者が“借りたい本が十分にない”からではないかと分析している。資料費の減少と書籍価格の高騰により図書館に新規で受け入れられる新刊本が減少し、市民が図書館で本を選ぶ時の選択の幅が狭くなり、蔵書の魅力が下がってしまっている。結果として、来館しても借りる本の冊数が以前より少なくなってしまうのではないだろうか。

今後の対応として、普段は棚に埋もれていて利用者の目につきにくい既存資料を効果的に展示するなど、より魅力のある書架づくりに努めるとともに、十分な額の資料費を確保できるよう、継続して予算の確保に努めていきたい。

（5）団体貸出　合計 55,265 冊貸出

内訳：園用読み聞かせ絵本セット 6,840 冊、小学校「としょかん BOX」23,590 冊、
中学校「としょかん BOX」7,385 冊、その他 17,450 冊

（6）子どもと本をつなぐ

子どもが本に親しむためには、幼児期に大人が絵本を読んであげる、あるいは一緒に読む体験を重ねることが重要である。また、自分で読めるようになってからは、子どもの生活環境の中に自発的に読みたくなるような楽しみのための本、読書に適した本があることが大切である。

図書館では、通常の個人貸出やお話会、子ども向けの蔵書の整備などの基本的な取り組みのほかに、下記のような事業を実施し、子どもから大人に至るまでの全過程において切れ目なく読書の環境を提供するよう事業を進めている。

市内の 0-12 才一人当たりの図書館児童書の貸出冊数の推移

年度	冊
H28	26.3
H29	27.4
H30	27.2
R1	25.1
R2	21.5
R3	25.6
R4	25.3
R5	26.2
R6	25.6
R7	27.3

①未就園児対象

- ●「ブックスタート事業」……4 か月児健診時に、赤ちゃんのときから絵本を読んであげることの大切さを伝え、絵本を 2 冊プレゼントする事業。（R7 337 人に実施）

②幼児対象

- ●園での読み聞かせ用絵本セットの巡回事業
- ●園への団体貸出（配送もあり）
- ●園に図書館所蔵の作品リスト配布（季節・行事・紙芝居、大型絵本などのお話会用作品、布絵本などの所蔵資料のリスト）
- ●園でのお話会・研修会などへの職員派遣、図書館見学

③小学生対象　中学生対象

- ●調べ学習等への協力（調査、本の用意、資料貸出、写真パネルの貸出）
- ●司書の学校訪問（ブックトーク、お話会、研修会、職業インタビューなど）
- ●児童生徒の図書館訪問の受入れ（図書館見学、貸出、お話会、職場体験等）
- ●「としょかん BOX」巡回事業　小中学校の全クラスに 30～35 冊の本が入った箱を設置し、定期的に交換・巡回。小学校は年 7 回。中学校は年 5 回。
- ●学童保育等への団体貸出

④その他

- ●野洲高校との連携　●図書館だより、ブックリスト等の作成
- ●各種イベント、展示　●リサイクル本の内覧会と譲渡（園・学校など対象）
- ●保護者やボランティア向けの絵本講座への講師派遣（園など）

⑤学校図書館支援業務

- ●「学校図書館支援員」による支援業務

図書館の司書 1 名が学校教育課と兼務し「学校図書館支援員」として学校図書館のサポートを実施している（R5 開始）。令和 6 年度より学校司書 1 名が配属されたことを受け、学校司書の業務支援を行うとともに、学校司書の非配置校をはじめとする各学校の授業支援や学校図書館の運営支援などをおこなった。

（参考　全国との比較）

昨年度とほぼ同じ状況であるが、貸出し上位館においても貸出し数は前年比でおおむね減少している。野洲市は同人口階層の中の貸出冊数は全国５位、ただし人口一人当たりの貸出し冊数に換算すると同一人口階層の中で３位の水準。

人口５万から６万の市区（76 自治体）貸出上位状況　2024 年度					参考：2023 年度	
順位	自治体名	貸出数（千点）	人口（千人）	人口 1 人当（冊）	貸出数（千点）	人口（千人）
1	白河市（福島県）	600	58	10.34	617	59
2	野々市市（石川県）	536	54	9.93	551	54
3	下松市（山口県）	505	57	8.86	523	57
4	石狩市（北海道）	483	58	8.33	499	58
5	野洲市	464	51	9.10	499	51
6	田原市（愛知県）	441	59	7.47	463	60

※『日本の図書館 2025』（日本図書館協会）より令和 6 年（2024 年）度統計値を独自に抽出。　※2024 年度、野洲市は空調工事による休館期間あり

(7) だれでも図書館を利用できるしくみづくり

①バリアフリーサービス

障がい者手帳等を持つ人や要介護3以上の市民が対象。宅配と郵送を両方利用する人もいる。令和7年度は郵送件数が減少し、宅配件数が増加した。障がいがある人への郵送、宅配サービスは、PR イベント等も実施して広報をすすめているが、よりすそ野を広げる取り組みが必要である。

	バリアフリーサービス（宅配・郵送）						
	宅配			郵送			実利用者数合計
年度	実利用者数	件数	冊数	実利用者数	件数	冊数	
R3	6	37	329	14	177	710	17
R4	7	53	285	12	210	852	18
R5	9	43	107	11	155	692	19
R6	6	62	116	13	140	723	18
R7	**6**	**102**	**222**	**10**	**90**	**611**	**16**

②予約本受取ボックスと移動図書館

野洲図書館2館（本館・中主分館）の開館時間中に本を借りに来るのが難しい人、あるいは自動車の運転免許返納などにより図書館へのアクセス自体が難しくなった人などに対して、図書館利用の可能性を広げる施策として、野洲駅の「予約本受取ボックス」とアル・プラザ野洲での移動図書館を実施している。

予約本受取ボックスは供用開始以来利用が多い状態が続いており、常に100人以上の利用者が提供待ちの状況となってしまっていたため、令和7年5月より取り置き期限を5日から4日へ短縮した。結果、ボックスの利用回数はある程度伸ばすことができたが、依然として提供まで数日を要する状況は続いている。

アル・プラザ野洲での移動図書館事業は、順調に定着しつつある。生活必需品の調達のついでに利用できるのは大きなメリットであると考えている。利用者からは「図書館までは遠くていけないが、アルプラなら来られる」などの声がある。今後は、令和9年度開始を目指し、移動図書館車の運行の準備を進め、来館が難しい市民へ本を届けられるよう、市内他地域への移動図書館サービスの拡充を目指していく。

アル・プラザ野洲移動図書館			
	回数	貸出冊数（冊/回）	貸出人数（人/回）
R6	12	1342（111.8）	288（24.0）
R7	**12**	**1361（113.4）**	**297（24.8）**



野洲駅　予約本受取ボックス　利用状況（R7）													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	351	418	385	426	377	392	399	395	368	393	371	420	4,695
貸出冊数	1,006	1,257	1,052	1,278	1,015	1,022	1,035	1,054	962	1,042	1,097	1,161	12,981

※R6 は 4,353 回　13,414 冊

2. 蔵 書

蔵書数（令和 8 年3月 31 日現在）　　雑誌、新聞の（　）内は購入数　　雑誌オーナー 24 タイトル 18 件

	図書（冊）	CD（点）	DVD（点）	絵画（点）	雑誌（タイトル）	新聞（タイトル）
本　館	376,329	5,926	1,228	327	163（121）	19（12）
中主分館	32,932	198	9	0	7（4）	1（1）
合計	409,261	6,124	1,237	327	170（125）	20（13）

購入資料数と決算額（令和 7 年度）

	新規購入図書（冊）	視聴覚資料（タイトル数）	図書費（円）	雑誌購入費（円）	新聞購入費（円）	視聴覚資料費（円）
本 館	6,114	0	11,583,588	1,578,627	454,320	0
中主分館	247	0	402,513	39,665	46,800	0
合計	6,361	0	11,986,101	1,618,292	501,120	0

＊購入しての提供とはならなかった資料は、県内外の図書館との相互貸借により資料を取り寄せて提供している。滋賀県では県立図書館の協力車が毎週巡回し、資料を搬送。（R7 相互貸借件数 借受：2,041 冊 貸出：711 冊）

3.集会・事業等

【講演会等】

① 『聴導犬ポッキー いつもいっしょ』講演会・原画展
聴導犬ユーザーである五十嵐恵子さんが 2024 年に出版した絵本についての講演会と絵本の原画展
講演会:7/5(土) 参加 68 名　　原画展:6/13(水)～7/5(土)

② 自然写真家 飯村茂樹氏講演会「自然と遊び自然を撮る」 1/17(土) 46 名
写真パネル展示「飯村茂樹写真展 滋賀で見つけた自然」　12/23(火)～1/20(火)

【その他事業】

①「一日図書館員」 参加者:①7/29(水)11 人 ②7/30(金)12 人
対 象:野洲市内在住・在学の小学校4年生～小学校6年生、中学生・高校生
内 容:図書館探検、図書のカバーかけ、カウンター業務(貸出し・返却)など

②「化石とあそぼう 13「恐竜とアンモナイトの謎」」 7/26(土)
講師:羽島俊男さん(近畿地学会)　来場者数:約 100 人
※化石展示 7/1(火)～8/20(水)(ロビー)　講師所有のアンモナイトの化石(三葉虫・貝など) 20 点

③「としょかんクイズにチャレンジ!」 8/1(金)～8/31(日)
小学生を対象に、クイズで楽しみながら図書館での本の探し方や本や事典での調べ方を学んでもらう。
参加者(クリア人数):初級編 80 人、中級編 43 人、上級編 22 人

④「図書館で★謎解き ～館長さんの落とし物～」 8/13(水)～8/31(日)
用紙に書かれたクイズを解き、ゴールを目指す。(YA～大人向き)　配布枚数:159 枚、ゴール:51 人

⑤「としょかんでよふかし」 9/14(日)　参加者数:406 人
<書庫開放>参加者:52 人　　<魔法のしおり作り>参加者:約 104 人　リーディングトラッカーの作成
<ずくぼんじょ“おはなし”のおはなし会> 参加者:約 30 人　出演:子ども・本・文化を考える会

⑥「秋風ブックフェスタやす」 11/15(土)11:00～15:00
参加店主:一般 10 組、キッチンカー1台、書店など3組(本のがんこ堂、ふたば書房、book cafe EL SUR)
ゲスト:結城弘氏…野洲市出身。作家・ライター。著作『二十世紀電氣目録』(KA エスマ文庫)ほか

⑦野洲図書館のこれからを考えるライブラリー・ミーティング「未来をひらく図書館」12/20(土)
講演会『図書館を育てる』講師:岸本岳文さん(元滋賀県立図書館長)
『ライブラリー・ミーティング 野洲図書館のこれからについて意見交換をしましょう』 参加者:33 人

4.その他の事業、学校・園協力事業

①おはなし会(図書館内)　合計 77 回 988 人 (司書、ボランティアにより実施)

②学校、園協力
・調べ学習資料用意:76 件 1,694 冊　・中学校職場体験:3 校 10 日 15人
・学校への出張個人貸出: 3 校(三上小、中主小、篠原小)延べ 24 回 合計 2,405 冊貸出
・ブックトーク:小学校(6 校)へ出向 合計 86 クラス 2,751 人
・小学校でのおはなし会 32 回 15 日 2,751 人(司書、ボランティアにより実施)
・小学校・幼稚園等の図書館見学 4 校 5 回

5.資料の特集展示 (合計 142 回　10667 冊貸出し)

「今月の石 関連本特集」「まなび野洲検定」「戦後80年～歴史に学び、過ちを繰り返さない」
「アクア・ミュージアム」「偏愛」「豊臣!」「ART を読む ART でつながる」「Presents for」
「あれから15年 3.11 をおもう」「こんな学校へ行きたいな」「名前だけでも覚えて帰って」ほか

6.他機関等との連携

・ブックスタート事業　4 か月児健診児対象
(337 組※、674 冊配布 ※健診受診者 335 組と前年度の引換券配布者 2 組)

7.図書館協議会 (委員任期 令和 7 年5月 1 日～令和 9 年 4 月 30 日) 委員10名、年4回開催

・図書館の評価や運営についての意見交換等を実施。

8.その他

・「図書館の評価」令和元年度より実施開始　3 項目 図書館協議会による外部評価を実施
・としょかんアンケート令和 8 年 1/14(水)～2/8(日)　回答 772 件(用紙回答 540 件、ネット回答 232 件)
・施設貸出　利用回数 959 回、12,080 人　利用団体実数 102 団体